

## モザンビーク保健行政官 6 名が 日本の母子栄養、母子健康手帳の実践を学ぶ

「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、日本の政府開発援助（ODA）実施機関として開発途上国への国際協力を行っている独立行政法人国際協力機構横浜センター（所長：大野裕枝、所在地：横浜市中区、以下：JICA 横浜）は、モザンビークで実施されている JICA 技術協力プロジェクト「母子栄養サービス強化プロジェクト（2021年5月～2025年5月）」の一環として行う来日研修を東京都及び、歴史的に地域の母子保健活動が盛んな山梨県で実施いたします。

プロジェクトでは、モザンビークで全国的に使用されている妊婦シート、新生児評価シート、および子どもの健康カードを統合したモザンビーク版「母子健康手帳」を開発しました。この手帳は、日本の母子健康手帳に倣い、臨床的な記録スペースだけでなく、母子栄養・保健についての重要情報をイラストとともに掲載しました。本手帳は、2州4郡にて試行的に使用されています。地域保健人材（ボランティア）を通じた地域保健活動にも活用され、母子健康手帳を中心とした地域全体の母子栄養サービス強化のモデルづくりを目指しています。

今回の山梨県訪問は昨年につき2回目で、現場で活躍する保健行政官6名が参加します。日本の母子栄養・保健政策とその変遷を東京で学んだ後に山梨に移動します。山梨では特に県・市町村レベルにおける母子栄養改善、食育活動、乳幼児健診の取組実践を視察しながら、日本の現場で母子健康手帳がどのように効果的に活用されているかを学ぶことで、モザンビークの母子栄養サービス改善につなげることを目的としています。

取材をご希望の場合は、下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。また、研修期間中はポルトガル語の逐次通訳が同行しておりますので、研修員への個別インタビューも可能です。



ご参考：プロジェクトで開発した母子健康手帳の活用～地域の栄養士さんから家族に、母子健康手帳を使いながらメッセージを伝達～

1. **研修参加者**：モザンビーク保健省公衆衛生局の母子保健課と栄養課の行政官 2 名、ガザ州とニアッサ州の州保健行政の母子保健と栄養技官 1 名ずつ、ガザ州シフト郡保健局長、およびニアッサ州ムエンベ郡医長、合計 6 名

2. **研修日程**：2024 年 7 月 6 日（到着日）～18 日（出発日）

＜山梨県における主な講義・研修内容及び訪問先＞

7/10（水）AM 甲府市における母子保健の取組み（講義）@甲府市健康支援センター

PM 乳幼児健診（3 歳児）（視察）@甲府市健康支援センター

7/11（木）AM 食生活改善推進の歴史といま（エプロンシアター）@山中湖村保育所

PM① 山梨県の公衆栄養の活動（講義）@西桂町いきいき健康福祉センター

PM② 食育活動（おやつ作り教室）@西桂町いきいき健康福祉センター

7/12（金）AM① 山梨県における母子保健施策（講義）@笛吹市内

PM① 乳幼児健診（1.6 歳児）（視察）@甲府市健康支援センター

PM② 県愛育連合会への支援（講義）@防災新館

PM③ 愛育会の方達との座談会 @防災新館

■独立行政法人国際協力機構（JICA）について

JICA は、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150 以上の国と地域で事業を展開しています。

国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。

詳しくは <https://www.jica.go.jp/index.html> をご覧ください。

【本件に関する問い合わせ・申込先】

JICA 横浜 研修業務課：河野由紀子

電話：080-7200-5841 / 045-663-3221 e-mail: Kono.Yukiko@jica.go.jp

JICA 人間開発部保健第一グループ保健第二チーム：村上幸枝

電話：080-7106-6580 e-mail: Murakami.Yukie@jica.go.jp